



ヴォーリスだより



- 特集 -
つながりネット

(撮影者) システム室 林 徹夫
(撮影場所) ホスピス「希望館」

巻頭言

「在宅サービス部門の成長への感謝」

公益財団法人 近江兄弟社
ヴォーリス記念病院
在宅サービス部門 部門長
向 美保



Vol. 153

2021年11月発行

基本理念

キリスト教の「隣人愛」と「奉仕」の業を、医療を通して実践します。
— 私たちは、基本理念を大切にします。 —



「在宅サービス部門の 成長への感謝」



在宅サービス部門 部門長 向 美保
(看護小規模多機能型居宅介護「友愛の家ヴォーリス」管理者 兼務)

2021年度の上半期も新型コロナウイルス感染症対策に追われ慌ただしく過ぎてしまいました。この新型コロナウイルス感染症については、第5波の襲撃が大きく、『2020年TOKYOオリンピック』後には2,000人を超える重症者も出て、医療崩壊の危機とも言われ続けました。滋賀県においても200名を超す感染者で「緊急事態宣言」まで発令され、子供から高齢者までと年齢幅は広がり宣言期間の延長にもなりました。そんな中、8月末には当在宅サービス部門でも感染者が1名出てしまい、多くの利用者様・ご家族様をはじめ関係職種の方々にはご心配とご不安を持たれたことと思います。本当に申し訳ございませんでした。幸いにも感染は拡がらず各事業も休まず続けられており、皆様の御理解と御協力の賜物と改めて感謝しております。ありがとうございます。

さて、『在宅サービス部門』は、2004年（平成16年）から法人の病院部門、老健部門と同じように組織化し、運営し始めました。今年で早や17年になります。私は3代目の部門長として2009年（平成21年）より統括させていただいておりますが、おかげ様で訪問看護事業も訪問介護事業も居宅介護支援事業も順調に運営できております。また、2019年5月に開設した看護小規模多機能型居宅介護事業も5年目に入っており、少しずつ事業の特徴が地域の方々にも知っていただけるようになりました。コロナ禍ではありますが、自治会の方々も火災避難訓練にご参加いただき、共助の部分での支援を今後も継続していくと仰って下さいました。地元の方々の力強いお言葉は、とても温かく、感謝の気持ちでいっぱいになりました。『地域に愛され、地域から選んでいただける在宅サービス部門』を目標に、総勢約60名の大所帯に成長してきましたが、職員一人ひとりがヴォーリスグループの一人であることに誇りと自信を持ってサービスを提供できるよう、これからも努力していく所存です。来秋には新病院が移転しますが、私たち介護・福祉サービス事業との連携は今まで以上に密に取らせていただき、地域の皆様のニーズに応えられるよう法人全体で協力し合います。また、チームワークを大切にする事で、「働きやすい職場づくり」に繋がり、「働きやすい＝いきいきさ」が利用者様・ご家族様にも気持ちよく任せていただける雰囲気を作り出し、選んでいただける事業所へと繋がると信じています。

最後に、私事ですが今月還暦を迎えるため部門長および管理者という役職を次世代に引き継がせていただきます。永きに渡り、支えて下さった多くの方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。しばらくは訪問看護師の一人として友愛の家ヴォーリスに籍を置かせていただきますが、新しい組織になりましたもヴォーリスの『在宅サービス部門』をよろしく願いいたします。

チャプレンだより⑮ 祈りに支えられて

チャプレン 中村信雄

去る9月10日、近江兄弟社小学校に伺いました。生徒さんたちからの贈り物を受け取るためでした。

先の見えないコロナ禍にあって病院で働く私たちを励ますメッセージが綴られていました。宗教委員会の生徒さんたちが呼びかけてくださったそうです。当日も労いの言葉をいただきました。それは小さな手による祈りだと思いました。私たちの病院だけでなく、世界中の医療従事者のための祈りです。生徒の皆様と教職員の皆様に改めて深く感謝申し上げます。

「その優しさをより多くの人たちに分かち合いたい」、そう思い看護師さんたちの休憩室を始め、順番にそれぞれの場所で掲示しています。生徒さんたちの優しさに触れた人たちは笑顔になりました。小学校の教室には、若き日のヴォーリスさんと満喜子さんが並んでいる写真がありました。お二人も、いつもより笑顔でした。このような近江兄弟社であってほしいと願っていたと思うのです。

近江兄弟社小学校の生徒の皆様とそのご家族、そして教職員の方々のご健康が守られ、小学校での出会いと学びを通してお一人おひとりの人生が益々豊かなものとなりますように願い祈っております。



部署紹介

医療情報管理課 システム室

システム室 林 徹夫

医療情報管理課システム室は、2名のメンバーで構成されます。

システム室は、院内のIT環境、情報セキュリティなど多岐にわたり関わります。

システムに関わること（パソコン、ネットワーク、印刷環境、トラブル対応など）はもちろん、個人情報保護やコンプライアンス、セキュリティなどに対しても密接な関係性があり、それぞれに精通している必要があります。

新型コロナの影響によりリモートワークが推奨されていますが、中でもZOOMをはじめとしたリモート会議が主流になってきています。そういった環境の変化にも即応できるだけの技術がなければ、時代の流れに乗れない状況となってしまいます。

これからの時代はどのような環境に変化していくのかは未知数ですが、どの時代でもIT機器が開発され、より便利な社会となっていくことでしょう。しかしその機器を使うのは人間です。機器を使いこなすことが重要で、変化に対応できるスキルを日々磨いていくことが大切となってきます。

どのようなトラブルにも対応できる技術、時代の流れや変化に即応できるスキルを磨くことで、当院を利用いただく患者様、ご家族様にとって快適な環境をご提供してまいります。



特集

医療福祉ネットワーク会議 おうみはちまん「つながりネット」

地域療養支援部 村松 淳子

●● つながりネットとは ●●

市民が住み慣れた近江八幡で、病気になっても高齢になっても、安心して自分らしく生活していく為に、市内の医療機関・介護サービス事業、薬局、公共機関等のさまざまな機関と人がつながる他職種連携が土台となり、その根っことなる顔の見える関係づくりに取り組んでいます。

近江八幡市長寿福祉課、医師、看護師、リハビリ、社会福祉士、ケアマネ、介護福祉士、薬剤師、歯科衛生士、栄養士など職種、職場も様々な16名の地域リーダーが中心となり研修を行っています。

毎回違う議題で、多い時には年6回講義やグループワークなどを通して、初めて出会う方だけでなく、顔なじみの方とも一緒に学び、交流するいい時間がもて、よりよい地域づくりへのネットワークづくりにも役立っています。

「つながりネット」研修 (コロナ過の為、Web形式)

9月16日(木) 18:00~19:00

講演：災害時における専門職の連携

「業務継続計画(BCP) 策定のヒント＝クラスター発生から業務再開、現在までを振り返る＝」

講師：社会福祉法人近江和順会 特別養護老人ホームレーベンとはがひら 生田 雄氏

【講演内容】

新型コロナウイルス第2波感染流行期の2020年8月3日に施設内での感染者集団(クラスター)発生。

(ユニット型 特別養護老人ホーム、H27年7月開設、1F デイサービスセンター、2F 入所施設定員48名、3F 入所施設定員24名、ショート定員20名)

感染症発生時のマニュアルは機能せず、施設は助けを求める声をだせないまま危機的状況に陥った。

応援職員の派遣や外部専門家の支援もあり、8月21日感染収束、9月1日に在宅サービス再開に至った。

今回クラスター発生から業務再開、そして1年後の現在までを振り返り、今の私が思う業務継続計画(BCP)について報告

【研修を受けて】

最も印象に残ったのは、クラスターを起こしたときに施設、職員によせられていた声である。例を挙げると、地域からは「感染したら困るので施設の職員は買い物に出歩かないでほしい。」「配達員が感染したらどうするつもりですか？早急に対策を考えてくれないと行けません。」

職員からは、「自分が出勤すると同居者が会社から出勤しないほしい」といわれる。「子供がいじめられる恐れがあり、ここの職員であることを子供にも周囲にもいえない。」「近所で避けられ、回覧板を飛ばされるようになった。」など、差別的な対応をされる状況が出てきていたことを聞き、心が痛んだ。

当時、コロナの恐怖がどんどんTVでも報道される中であり、職員だけではなく、その家族にも不安がかなりあったと感じた。

施設は早急に、厚生労働省新型コロナ対策推進本部 地域支援班DMATが派遣され、施設に常駐し、派遣社員の協力も一時的にあって、何とか入所者の対応をされていた。

いくら予防をしていても目に見えない敵との戦いである。気を付けていても身近に迫ってくる恐怖。起こった時に自分で、施設で、何ができるのか、マニュアル通りにいかない。最終、発症事業所が一番頑張って、全員参加型で取り組み乗り切っていくしかない。

その教訓を生かして次につなげていく事が大切であるということを学んだ。



今回の研修では100名程度の参加がありました。次回の研修については11月を予定しています。

詳細については、近江八幡市のホームページに参加要項や申込書などが掲載されています。お忙しい時間帯ではございますが、ぜひともご参加いただき一緒に学びませんか？

多くの皆さんの声や意見が、よりよい住み慣れた地域づくりにも繋がっていくと思います。ご参加お待ちしております。

脾臓の治療 ～集学的治療が重要！～

外科 医師 前平 博充

脾臓は脾臓にできる癌で、症状が出にくく早期発見は簡単ではなく、消化器癌の中でも手強い癌の1つです。しかし、時代の進歩とともに有効な治療法も増えてきました。

脾臓は大きく分類して、「**切除可能脾臓**」、「**切除可能境界脾臓**」、「**切除不能脾臓**」に分けられます。そして、さまざまな治療法の開発に伴って、選択できる条件はありますが、「**抗がん剤**」、「**手術**」、「**放射線治療**」、「**免疫療法**」、「**ゲノム医療**」と様々な種類の治療法が開発されました。これらの治療を、患者様の状態および脾臓の状態を考慮してうまく組み合わせることが、脾臓を治療するにあたって非常に重要となります。これを**集学的治療**といいます。

当院では、脾臓に対する抗がん剤治療を積極的に行っております。そして他の治療法が最適と判断した場合には、迅速にしかるべき関連施設への紹介をさせていただくことで、脾臓に対する集学的治療を実現しております。もし、脾臓でお悩みの方は、ぜひ当院外来にお問い合わせください。



診療科：外科

診療日：毎週木曜日（午前診）★要予約

医療安全管理室の取り組み

医療安全管理室 森 啓一

7月から当院の医療安全管理室を担当しています森です。

当部署は医療事故や感染、医療に関する安全を考え、働きやすい環境づくりや職員の安全管理、患者さんにとって安全で満足度が充足できるように医療を考える場所です。

どのようにして、患者さんが安心できる医療や療養環境を提供できるかを、過去の報告事例や情報収集をもとに、医療安全管理委員会、推進カンファレンス、リスクマネジメント部会などで協働して対策を検討しています。

インシデントレポートは、病床数の5倍が目安といわれていますが、当院では2020年度に970件報告されており、とても意識が高く、よく報告されているといえます。インシデントレポートはミスを出したから書くということではなく、原因の分析と再発予防に役立てることが出来ます。誰かの責任というわけではなく、よりミスが起りにくいしくみ（システム）を皆で検討して作ることが肝要です。まずは規則や手順の遵守、なければ整えていくことも業務です。現在作成中のマニュアルがありますが、それも患者さんの安全を守るためのもので、入院されるときの評価項目となります。

医療においては多様な職種や部門があり、チームで医療を行っているので、安全な医療の提供のためには、部門・職種の違いや職制上の関係を問わず、相互に意見を交わしあうことが重要です。そのようなところでもサポートさせていただけるよう業務に励みます。

- ①対象を見る ②指を差し呼称 ③耳元へ(確認) ④振り下ろして「ヨシ！」



指差し呼称で
ヒューマンエラー防止！

病院新築移転用地造成工事記録(2021年10月)

9月より鉄骨搬入され、基礎の上に、柱や梁（構造材）を組み上げて、屋根を葺けるようにするところまでの工事「鉄骨建方（たてかた）」が始まりました。全体の品質にかかわる重要な工程となります。



2021年9月6日

2021年10月5日



管理栄養士ようちゃん
おススメ！

免疫力アップと食事の関係

コロナウイルスの発生から免疫と食事の関係についてよく相談を受けるようになりました。昨今では免疫と食事の関係について研究がさかんにされており、様々な情報が発信されています。今回は食事と免疫について一部ではございますが、紹介させていただきます。

これが一番大事！！

バランスの取れた食事をしっかりと摂ること！！！！
その上で下記の食品を摂ること◎

善玉菌を増やして腸内環境を整えましょう！！

そのためには…

- ① 善玉菌を増やす、食物繊維やオリゴ糖を摂る
- ② 善玉菌（乳酸菌）を摂る



①は野菜、きのこ、豆、果物が
オススメ



②は善玉菌（乳酸菌など）を
含む発酵食品がオススメ

※食品の乳酸菌は腸に定着しないので毎日食べる方が効果的

免疫にはタンパク質が必要！！！！

私たちの体や免疫物質はたんぱく質からできています。
不足すると免疫力低下の原因に…

また、筋肉の維持という面でも大切です。

免疫力は体温36.5℃以上で活性化しますが、
1℃下がると30%低下します。

筋肉には体温を保つ働きもあるので筋肉を落とさない
ためにもたんぱく質の摂取は大切です。



あれ？腸と免疫って関係あるの？

関係します！！！！

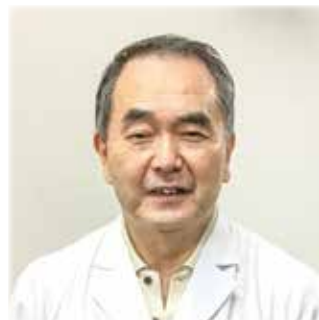
腸は食物の消化・吸収を担うだけでなく、病原体や不要物を
排除したり感染を防ぐ役割もあります。また、**免疫力の60～
70%は腸で作られます**。従って、腸内環境を良くすることは栄
養状態だけでなく免疫力アップにも期待できます。



医師紹介

循環器科

寺尾 良一 (てらお りょういち)



【経歴】 平成7年 滋賀医科大学医学部 卒業

【専門】 循環器科

【ひとこと】

私は、薬剤師と臨床検査技師の資格を持っており医療分野の仕事に携わってきました。病院勤務だけでなく、製薬関連企業のサラリーマンも経験しました。某企業の医薬品事業開発部に所属していたとき、企画調査員として滋賀医大の研究室に出入りしていました。そういった関係で平成元年滋賀医大に入学し、平成7年卒業、医師免許を取得しました。医師としてのキャリアは26年です。

ヴォーリズ記念病院には平成8年循環器担当として赴任し、以来ヴォーリズ一筋でやってきました。その間、時を経て業務形態が少しずつ変化してきました。一番困ったのは紙カルテが電子カルテに変わったときです。私のようなアナログ人間はキーボード操作にも苦戦しました。今でも医療クランクさん達に助けられながらなんとか診療録を作成しています。

時代に取り残されないように頑張りたいと思っているこの頃です。

論文紹介コーナー



「左角回梗塞後の両側中前頭回遠隔抑制に関連したタイピング障害」

医師 前田 憲吾

キーボードを見ずにタイプできる人が、左角回の小さな脳梗塞後にそれができなくなりました。失語や失読はみられませんでした。失書がありました。神経心理学的には、患者のタイピング障害の原因は、日本語からローマ字への変換の障害にあると考えられました。この時の脳血流シンチグラフィでは、脳梗塞の部位とは離れた中前頭回というところで両側性に血流低下がありました。病変と離れた場所の機能低下が生じることを、特に脳血管障害ではdiaschisisと呼びます。左角回との神経線維連絡の強い部分にdiaschisisが起こったと考えられますが、このような報告例はありませんでした。中前頭回は失語・失書・失行を伴わない純粋なタイピング障害を起こしうる領域として症例報告されています。今回の提示症例は、この領域が言語機能に重要な左角回と強く結びついているだけでなく、純粋タイピング障害の責任病巣としても矛盾がないことを示しています。患者のタイピング障害は軽快し、中前頭回の血流も正常になりました。

種々の高次脳機能障害の発現機序については動物実験が困難であるため症例からアプローチせざるを得ません。不思議な症候の方がおられましたら、是非、診る機会を与えて下さいますようお願い申し上げます。

Maeda K, Yamamoto Y, Shiraishi T, Fujioka E

Dystypia associated with diaschisis of the middle frontal gyri after left angular infarction.
「左角回梗塞後の両側中前頭回遠隔抑制に関連したタイピング障害」(J Stroke Cerebrovasc Dis 30 (7) 2021, 105803)

病院からの お知らせ

◆糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで偶数月に糖尿病、生活習慣病に関して、病気の知識や治療法についての教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日時 2021年12月14日（火） 11：30～12：30

場所 新館研修室（病院内）（※日程・時間変更の場合あり）

講師 医師または管理栄養士

※主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申込みが必要です。

※新型コロナウイルス感染予防の観点から、食事は当面の間中止致します。



ヴォーリス記念病院「出前講座」

当院では、「地域の皆さまの健康生活に貢献できる病院」の一環として、当院医療スタッフが地域に出向いて、医療や健康に役立つ専門的知識・技術などをご紹介します。地域の皆さまの健康保持増進や疾病予防などのお役に立てればと願っております。ぜひご利用ください。

<講座の内容>

- **病気や治療**について
（生活習慣病、認知症など）
- **在宅医療**について
- **健康生活**について
（運動、食事、薬の知識など）
- **終末医療、ホスピス**について・・・など

＊ ＊ご希望に合わせて、内容はご相談に応じます＊ ＊

<対 象> 近江八幡市内の地域住民による団体、グループ、学校など
（※職場研修は実施していません。）

<費 用> **無料**です。

<開 催 日 時> 日、祝日を除く、9：00～17：00

<申込み方法> **企画渉外課**まで、電話により希望日の2か月前までにご相談下さい。

電話：0748-32-5211（代表）

※詳細はホームページでもご覧になれます。

【2021年度 ヴォーリス介護予防教室】ですが、今年度のお申し込みは、定員に達しましたので終了致しました。楽しみにして下さっていた皆様には、誠に申し訳ございません。

地域療養支援部受付

患者様やご家族様に住み慣れた生活の場で、安心して療養し生活を送って頂けるようサポートします！

- ・健康保険、介護保険等の社会保障制度について
- ・在宅での生活、介護についての不安
- ・施設の入所や利用について
- ・地域の病院、開業医の皆様からの受診、入院依頼

お気軽にご相談ください。 ※部屋は正面玄関入って左側にございます。

T E L (0748) 32-5221 / F A X (0748) 36-5412

【人間ドック、健診についてのお問い合わせ】

医事課 2 番窓口にお越し頂くか、お電話（0748-36-5467）下さい。

※ 受付時間：月～土曜日 13：00～17：00（祝祭日は除く）

〒523-8523 滋賀県近江八幡市北之庄町492

電話：0748-32-5211（代表）

FAX：0748-32-2152（代表）

＊シャトル（無料送迎）バスあります。

●編集後記●

秋になると、病院の周りの風景は、赤、黄、緑、茶、など彩り豊かになります。済んだ青空の朝、病院に向かい歩いてきて見える色鮮やかな景色は、心にとっぷりの安らぎと優しさを与えてくれるだけではなく、私を、ますます「食欲の秋」へと誘います。

【編集・発行】 公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリス記念病院 企画渉外課

公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリス記念病院